

<増田太郎 主な活動履歴>

5歳よりヴァイオリンを始め、20歳で視力を失うが、《ヴァイオリンを弾きながら歌う》という独自のスタイルで音楽活動を展開。その生命力あふれる演奏が、フジTV《とくダネ!》、BSフジドキュメント《僕は歌になりたい》、ヒストリーチャンネル《ひとりひとりのラジオデイズ》をはじめ、新聞各紙に取り上げられる。自身の体験と演奏を融合し、全国の企業、自治体、学校などで開催する《講演ライブ》では、「ヴァイオリンのイメージが180度変わった」など、驚きと感動の声が寄せられている。

楽曲『雲』がNHK《みんなのうた》で放送。普天間かおりに提供した楽曲《花星賛歌(はなほしさんか)》がテレビ東京《美の巨人たち》エンディングテーマに起用。

韓国人アーティスト、ソ・ウォノのアルバム《イノセント》に楽曲《花星賛歌》、《Life is Beautiful》を提供、同アルバム収録《千の風になって》では、アレンジとヴァイオリンを担当。

ニッポン放送《オールナイトニッポンレコード》にて、《悩み相談コーナー》などを一年間に渡り担当。同局の《ラジオ・チャリティ・ミュージックソン》に、2002年より出演。ヴァイオリニストとして、森山直太朗の《手紙》(シングル《さくら(独唱)》カップリング収録)ほか、普天間かおり、より子、奥井亜紀などのレコーディングやコンサートに参加。

2008年、作品「拍手の中に『笑顔』が見える」にて、《第6回オンキョー点字作文コンクール》グランプリを受賞。(厚生省・日本盲人福祉委員会・毎日新聞社会事業団後援)

2009年、ヴォーカルアルバム「Present～きみに届けたいこと～」発表。NYセントラルパークで開催された《JAPAN DAY》にて演奏。2011年秋にはNYハーレムのゴスペルクワイヤーのステージに、ファイチャリングアーティストとして招かれる。

久石譲指揮、小林研一郎指揮のオーケストラメンバーとして、TOKIO、辻井伸行との共演やゲーム音楽やタップダンスとのコラボレーションなど、ジャンルを超えた多数のプロジェクトに参加。

2011年東日本大震災発生直後に、楽曲《希望の景色》を発表。福島県下最大の避難所、郡山《ビッグパレット》はじめ、被災地や避難所で演奏。福島のパオロ、和合亮一氏の朗読に即興でヴァイオリンをつける《詩の礫》にて共演。

2012年、はじめてのヴァイオリンアルバム《希望の景色》発表。同アルバム収録楽曲《Waltz Noir (ワルツノワール)》がテレビ東京《美の巨人たち》4~6月期エンディングテーマとして放映。テレビ東京《生きるを伝える(クリックすると番組映像をご覧ください)》にて、ドキュメンタリーが放送される(9月8日)。

同年7月、林真理子直木賞受賞作小西真奈美朗読のオーディオブック《京都まで》の音楽制作とヴァイオリン演奏を担当。

2013年、NHK ラジオ第二放送「聞いて聞かせて」にて特集番組が放送。

法務省/公益財団法人人権教育啓発推進センターほか主催《震災と人権～一人一人の心の復興を目指して》（会場：福島テルサ）にて、トーク&コンサート出演。味の素スタジアムで開催された《スポーツ祭東京 2013》開会式にて、ダンスカンパニー《コンドルズ》主催、近藤良平が総合演出を担当する開会式アトラクションにおけるヴァイオリン・ソロと、新曲によるミニコンサート、児童合唱とともに震災復興ソング《花は咲く》を演奏。

2014年、《希望の景色》収録曲《パッセのワルツ》がNHK BS プレミアム《世界ワンワールドキュ》挿入曲として放送。紀尾井ホールにて開催されたライオンズクラブ震災復興チャリティコンサートに出演。

2015年、ザ・プリンス パークタワー東京にて、ニューイヤー・ヴァイオリンコンサート開催。井の頭動物園彫刻館にて、文化園コンサート《February Concert at the Zoo》出演。

石巻《日和山神社》と東松島でのコンサートを機に、地元だけでなく、全国から参加されたみなさんとともに《東北 zero ツアー》開催。

2016年、詩人・谷川俊太郎さんの息子さんで、ジャズピアニストの賢作さんとのデュオライブ《春は銀座で上機嫌♪》《秋も銀座で上機嫌♪》開催。東急ハーベストクラブ旧軽井沢 15周年記念コンサートにて演奏。パレスホテルにて開催された、保護犬・補助犬チャリティ・ガラディナーパーティで演奏。

2017年、TOKYO MX 元旦特番《願いを旋律に込めて》出演。岡山市民会館大ホールにて《希望の景色コンサート in 岡山》開催。

東京体育館で開催された《GTF(グレーター・トウキョウ・フェスティバル)共生スポーツ祭り》、東京都主催『NO LIMITS SPECIAL PARALYMPIC AMAZING STAGE SHOW』にて演奏(司会：松岡修造・平井理央)。

「すべてのペットが幸せになれる東京へ」と活動する、《TOKYO ZERO キャンペーン》呼びかけ人に参加。

ラジオ番組《増田太郎ミュージックシュタイン》(茨城・和歌山・栃木・岐阜放送、ラジオ沖縄、むさしのFM、FMたちかわ、日本福祉放送)のパーソナリティを1999年から2015年まで担当。HPから聴けるインターネットラジオ《TAROWAVE》が大好評！

CD《希望の景色》、《カラフルモメント ～いろいろな色の毎日が、ぼくらの背中を強くしてくれる》、著書にエッセイ《毎日が歌ってる》(すばる舎)がある。